

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
78	川崎市立向丘小学校	大曾根 実

学校教育目標	今年度の重点目標
自ら学び、かかわり合いながら、表現力をつけ、自分をたかめようとする子ども 1) 進んで学習する子ども 2) 思いやりのある子ども 3) 心も体も強い子ども	1) わかる・できる授業と一人一人を大切にする学習指導の充実 2) 人のかかわりを大切にする心豊かな学校生活の創造 3) 明るく元気で、安心・安全に過ごせるような生活習慣の育成 4) 食を大切に、バランスのとれた食生活の継続

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを視点に授業改善。 GIGAスクール構想によるICT機器の学習活用。 児童の実態に即したきめの細かい学習支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材研究の充実、学年協力での授業準備など、授業改善を進めた。 日常的な活用がさらに拡充した。個別最適な学び、協働的な学びに向けての活用が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを視点にすべての教科で授業改善を図っていくとともに、個別最適な学び、協働的な学びに向けたICT機器の活用を進める。 個別支援のため教員配置、実態把握を進める。
2 特別活動・児童指導	<ul style="list-style-type: none"> 自己実現、人間関係形成、社会参画の力の育成に向けたキャリア在り方生き方教育。 向小の約束を徹底することで規範意識の育成。 きれいな学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童中心の活動や、委員会、クラブ、係活動、実行委員会などで主体的に創造する力を育くみ、つながりを大切にしている。 定期的な児童の姿の共有、協働的、組織的な課題への対応で、規範意識を育み、困りごとへの対応を重ね 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい人間関係の構築、自己肯定感の定着を目指し、COや特別活動担当を中心とした研修を行い、全教職員の力量を高めていく。 きれいな学校に向けて、教職員の意識を高める。
3 健康教育	<ul style="list-style-type: none"> 体育学習の充実、キラキラタイムを通して体力向上。 特別活動や保健学習、家庭科等での食育を通じて食に対する意識向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 委員会活動から、体力向上、健康への意識が高まった。 栄養教諭や養護教諭と各担任が連携する中で授業を通じて、食に関する子どもの意識を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育の授業の充実に向けて、体育担当から発信をする。また、年間を通して体力向上の取組を進める。 さらなる食育の充実に向けて、教職員での共有と、発信の幅を広げていく。
4 学年・学級経営	<ul style="list-style-type: none"> 学年主任を中心とした共働支援体制を構築し、学力の向上、豊かな心、健やかな体の育成。 学年の共働体制を基盤とした迅速な諸課題への対応。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年が共働して、目指す子どもの姿に向かえた。また各課題に迅速に対応することで、多様な角度から課題をとらえよりよい解決に向かい取り組んだ。 外部機関を有効に活用できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じ、児童の成長を連続的にとらえ、支援する意識の共有を図っていく。 目の前の事案に、丁寧かつ、迅速に対応し、チーム対応を行っていく。
5 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級において、落ち着いた学習環境のもと効果的な個別学習や合同学習。 学級担任、児童、保護者、必要に応じて関係機関との連携による個に応じた特別支援の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援級担任間の連携、指導体制の共有、交流級担任との連携のもと落ち着いた環境で学習が進められた。 担任、学年、保護者、CO、管理職や関係機関との連携も密にとれていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導体制の構築を図る。 保護者や関係機関とのさらなる連携のもと、密な支援を行っていく。
6 研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> 国語の授業を中心とし、自ら考え、共に学び合いながら、読む力を高める学習を展開する。読書活動の充実。 学習指導要領の理解を深め、授業力の向上を図る。 授業力向上に向け、様々な研修を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究も4年目となる。年間を通し講師にも指導をいただき、読む力を高めてきている。読書活動の充実には課題が残る。 国語、情報、体育、特別活動の研修会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究をさらに充実させ、効果を上げていく。 教職員の効果的かつ計画的に研修を重ね、授業力の向上を図っていく。
7 保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> HP、学校便り、懇談会、その他の各行事の機会をとらえ、学校の取組を発信し、保護者・地域との連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観、懇談会、個人面談、運動会、など、保護者の方や地域の方に児童の活動を見ていただく機会が増えた。 発信方法が、HPやメールが増え、多くの方に発信しや 	<ul style="list-style-type: none"> HPの有効活用など、保護者や地域に向けた発信をさらに充実させ、教育活動への理解を深めていく。
8 学校安全	<ul style="list-style-type: none"> 各種訓練を通じて日頃からの危機管理意識を高める。 防災教育・交通安全教育を通じて自分の身は自分で 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身は自分で守る意識を継続的に育んだ。落ち着いて行動ができ、重ねている訓練の効果が出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の内容を、少しずつ実際の災害時に近づけていく。 交通安全についてより計画的に指導を進める。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<ul style="list-style-type: none"> SDGsの取組や、授業で育てたい力、特別活動で育みたい力など、学校目標を受けての活動計画や日々実施してきたことをもっと発信することで、より理解が得られると思う。 運動会、授業参観など、教育活動を参観する機会や、子どもたちの、日々の活動や成長した姿を見ることができて、とてもうれしく思う。 学校アンケートの設問そのものを、わかりやすい言葉にすることで、活動内容が見えてくると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての教育活動でSDGsの達成に向け意識づけを推進した。また、「よりよい」自分、友達、集団づくりに向かいキャリア在り方生き方教育を進めた。 学力向上に向けて授業改善、個別最適な学び、協働的な学びの実現の一つとして、GIGA端末の活用をさらに進めていく。また、かけがえのない一人一人として、学習面、生活面と個に応じた指導、支援を重ねてきた。さら広い視野と多くの視点をもって児童を支えていく。 教職員全員が、高い責任感と、互いに支え合う強い同僚性をもって日々の教育活動にあたってきた。尊い職場文化として大切にしていきたい。